
獄潰し ～所詮男は金なのか～

雨月

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

獄潰し ～所詮男は金なのか～

【コード】

N1199M

【作者名】

雨月

【あらすじ】

天導時時雨、彼は告白した相手から『貧乏は嫌なの』と言われてしまうのだった。

獄潰し　　所詮男は金なのか

時雨「世の女性に問う、所詮男は金なのかあつ」

賢治「荒れてるね」

時雨「梅雨だからね。いろいろと不安定になっちゃうのさ。二週間そのままにしていたアイスのごみにキノコが……」

賢治「で、なんで荒れてるのさ」

時雨「女性が男性を見るときたまに、金づるとしか見てない時があるじゃん。それがちょっと僕的には許せないかなと」

亜美「所詮男は金でしょう」

賢治「一理あるね」

時雨「くっ、二人して……」

亜美「さ、買い物に行きましょう時雨君」

時雨「え、ちょっと、猫を掴むような……ちょっとお」

店員「二百円になります」

亜美「じゃあ、この時雨君で」

時雨「え」

店員「かしこまりました。お釣りの百円です」

時雨「え、ええつ。僕って二百円の価値しか……」

亜美「所詮男は金だから」

時雨「いや、それって絶対にいろいろと間違ってると思っ……」

亜美「でもほら、物々交換ってあるでしょ」

時雨「だから、これは人身売買なんじゃないかなと」

亜美「物々交換だけに帰ってきたとき物貰いとかあったりしてね」

時雨「わけわかんない事を……」

店員「じゃあ、こちらに来てください」

時雨「あ、ちよ、ちよっとつ。猫じゃないんだから……」

店員「じゃあ、ここに座っててください」

時雨「え、って『今大人気、時雨君1/1スケール』ってなんです
かつ。5000円って確かに上がったのは嬉しいですけど」

店員「商売ですから客を騙してお金をもらうのが基本です」

時雨「ひどいつ」

店員「外国産ですがあえて、日本産と偽ったりします」

時雨「生粋の日本人ですよ」

店員「消費期限を過ぎたとしても別のパックに入れてまた、売りますから売れ残るなんてさみしい事はありませんよ」

時雨「売れ残るよりは嬉しいですけどそれって問題ですよね」

店員「じゃ、頑張ってください」

時雨「もう、なんだよ一体……」

蕾「あつ、お兄ちゃんが売ってるっ」

母「あら、本当」

時雨「二人とも、僕を買ってくれっ」

蕾「こうして、お兄ちゃんが出来ました……と」

賢治「じゃ、閉めとしてひとつ。夜のオカズに本屋とレンタルDVDや自販機に向かう若人。そんなところにオカズなんてないはずなのにね」

時雨「落ちてないと思う」

賢治「じゃあ、次の一言で終わらせて見せるよ」

時雨「うん、期待しているよ」

賢治「お金の話は………おっかねえっ」

時雨「………」

(後書き)

ああ、何だか常習化してしまったこのシリーズ。今、考えているネタとしてはあと二つぐらいあります。それを実際に話にするかどうかは………しっかりと考えないと。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1199m/>

獄潰し ~ 所詮男は金なのか ~

2011年10月3日11時51分発行